



【第 8 号】

平成 29 年 5 月 31 日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港を始めとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからご覧いただけます。

小名浜マリブリッジライトアップ点灯式



1号ふ頭からの眺め

平成 29 年 4 月 23 日(日)、小名浜港 1 号ふ頭でいわき市が主催し、3 号ふ頭と東港地区を結ぶ「小名浜マリブリッジ」のライトアップ点灯式を開催しました。

多くの来場者が、「いわき・ら・ら・ミュウ」や 2 号ふ頭から観覧していました。

今後のライトアップは、小名浜港の賑わい創出のため、毎日、日没後点灯されます。

ビューポイントとしておすすめなのは、橋の全景を見るなら 1 号ふ頭から、ライトアップをより近くで見るなら 2 号ふ頭からです。



小名浜マリブリッジ完成披露式

平成 29 年 4 月 23 日(日)、国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所が主催し、小名浜マリブリッジ完成披露式を開催しました。

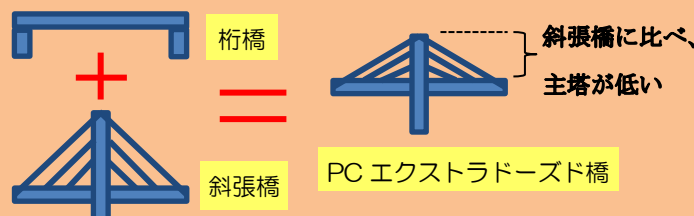
東港地区は、石炭の貯炭場として国と県で整備中ですが、現在その埋立工事を進めており、小名浜マリブリッジについては、今後当分の間、工事車両の専用道路となります。



小名浜マリブリッジについて

小名浜マリブリッジの航路部（延長 510 メートル）は、日本の臨港道路では初めてとなる「PC エキストラードロード橋」という、桁橋と斜張橋の長所を取り入れた形式を採用しており、斜張橋よりも主桁の剛性が大きいので、構造的にも景観にも優れ、小名浜港のランドマークとしての役割を担っています。

この橋は国が建設し、県が管理します。



小名浜港港湾計画を改訂しました。

藤原・大剣心頭

木材チップの貨物量の増加、コンテナ船の大型化に伴い、既存の岸壁だけでは、不足することから、新たな心頭用地の拡張と岸壁を計画しました。

東港地区

石炭の貨物量増加に伴い、既存の岸壁の延長だけでは荷さばき能力が不足することから、新たな心頭用地の拡張と大型船に対応した岸壁を計画しました。

小名浜港の港湾計画を今年3月に改訂しました。「港湾計画」は、10年から15年程度先を目標とした空間計画で、取扱可能貨物量などの能力、その能力に応じた港湾施設の規模及び配置、さらに港湾の環境の整備及び保全に関する事項などを定めることとなっています。小名浜港の港湾計画は、平成15年港湾計画改訂以降12年が経過しており、その間、東日本大震災等による社会経済情勢の変化に伴い、小名浜港を取り巻く環境も大きく変化していることから、これらに対応するため平成40年代前半を目標とし、改訂したものです。

小名浜港湾建設事務所所長の紹介

Q 小名浜港の第1印象はいかがでしたか？

A 「まぶしいくらいに明るく、空が広い」と感じました。

Q 以前はどんな仕事をしていましたか？

A 以前は技術管理課で主幹を務めていました。そこでは、新技術・新工法への取り組み、職員の技術力向上に関することを担当していました。

Q 今後の抱負は何ですか？

A 地域の方々から「小名浜から復興を発信していきたい」という強い思いを感じるため、その期待に応えるべく、スケジュールを意識し、一つ一つ丁寧に対応し、成果を出すようにしていきたいです。



所長 なべの 鍋野 ひろかず 浩和

Q 趣味・休日の過ごし方は何ですか？

A 趣味は写真撮影で、休日によく散歩をしています。

編集後記

みなさん、こんにちは。小名浜港湾建設事務所の梶原です。入庁しての初仕事で、小名浜港についてもまだまだ勉強中ですが、これからも小名浜港に関する情報を分かりやすくお伝えしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



かじはら君